

2019年飯田賞推薦書

1. 候補賞名 [本賞 ・ 奨励賞] (どちらかに○印をお付け下さい。)

2. 候補者氏名 本郷 太郎

生年月日： 西暦 1975年 6月 15日生 (43歳)

職 業： 義肢装具士

所 属： 双葉アカデミック義肢装具製作所

連絡先住所： 〒113-0033 文京区本郷9丁目-9-9

電 話： 03-3812-9999

メールアドレス： ooffice@jjsspo.jp

日本義肢装具学会入会年月日： 西暦 2000年 9月 1日入会
(ご不明の場合は事務局までお問い合わせください)

3. 推薦者氏名 文京 一郎 (印) (複数推薦者可)

※自筆サイン。連名での推薦の場合は別途用紙を作成し、添付してください。

職 業： 義肢装具士

所 属： 所沢リハビリテーションセンター

推 薦 日： 西暦 2019年 4月 1日

4. 推薦表題及びその理由

「 永年の義足歩行分析の研究 」

本郷太郎氏は2002年、アメリカロサンゼルスリハビリテーション大学で義足に関する歩行分析を学び、2006年4月、所沢リハビリテーションセンターに義肢装具士として就職し、臨床を通して義足歩行のメカニズムの解明に努めた。その後、様々な下肢切断者の義足歩行を研究するため、現在の双葉アカデミック義肢装具製作所に2010年に就職し現在に至る。その間、ロサンゼルスリハビリテーション大学への留学経験をもとに、リハビリテーション工学の分野において義足の歩行分析の研究を行い、義足歩行のメカニズムを理論的に解明し体系付け、教育や臨床に大きく貢献した。別紙業績目録のとおり、多数の研究発表、著書を残した。

また氏は、アジア義肢装具学会編集委員会日本支部支部長、日本義肢装具協会会長、リハビリテーション学校義肢学科非常勤講師を努めるなど、その活動範囲は多方面に及び、義肢装具の開発・発展に大きな貢献をしている。この業績は飯田賞本賞に十分値すると考える。

以上のことから氏を2019年飯田賞本賞に推薦致します。

5. 学歴

- 1993年 東京都立双葉高等学校卒業
- 1997年 私立双葉大学工学部卒業
- 2000年 リハビリテーションセンター学校義肢装具学科卒業
- 2002年 アメリカロサンゼルスリハビリテーション大学義肢装具学科留学
- 2005年 同大学終了

6. 職歴

- 2006年 所沢リハビリテーションセンター就職
- 2010年 同センター退職
- 2010年 双葉アカデミック義肢装具製作所就職
- 2025年 リハビリテーション学校義肢学科非常勤講師
現在に至る

7. 資格

- 義肢装具士 (2005年)

8. 賞罰

- 2016年 文京区福祉協議会より身障者更生に対する貢献により表彰される。

9. 業績目録

【著書】

著者名（共著者名）：表題名、編者名、書名、版数、最初の頁～最後の頁、出版社名、発行年の順で記載して下さい。ただし義肢装具に関連したもののみとします。

1. 本郷太郎：大腿義足歩行.. 飯田一郎編集：義肢学、第2畔、45－50、文京出版社、2010
2. 松 梅子、本郷太郎、田沢慎一郎：義足歩行のメカニズム. 文京出版社、2012

【学術論文】

著者名（共著者名）：論文表題名．発表雑誌名,巻（号）：最初の頁～最後の頁、発行年の順で記入して下さい。ただし義肢装具に関連したもののみとします。

1. 本郷太郎：大腿義足歩行の研究. 日本義肢装具学会誌、13（2）：45－50、2018
2. Take,R.,Namiki,T. and Iida,I.:Comparative evaluation of polycentric knee Joint. J. Orthotics and Prosthetics,5:23-25, 2013

【学会発表】

発表者名（共同発表者名）：演題名．発表学会の名称、発表年の順で記入して下さい。
ただし、日本義肢装具学会およびISPO以外のものは、義肢装具に関連したもののみとします。

1. 本郷太郎、松 梅子、竹 力夫：両側大腿切断者に対する義足の使用経験
第3回日本義肢装具学会、2011
2. 松 梅子、田沢慎一郎、本郷太郎：義足の膝継手．第4回義肢装具士協会研究会、2011
3. Take,R.,Namiki,T. and Iida,I.:Comparative evaluation of polycentric knee Joint. 7 th
I S P O, Chicago,2012

